

おにぎりは愛情でできている

六平 内出 賢伸

おにぎりはいろいろな人の愛情によって作られていきます。お米を作ってくれる人、そのお米を加工してくれる人、そしてこのお米でおにぎりを作ってくれる人、この人達のおかげで僕達はおにぎりを食べる事ができています。

1
僕は今日の朝、早起きをしてお母さんといっしょにおにぎりを作りました。おにぎりの

2
おかずは、お父さんが仕事があるのにも関わらず朝早くから作ってくれたからあげです。お母さんといっしょにおにぎりを作っている時に、お母さんによつ大勝のお弁当のおにぎりもいっしょに作ると言われました。僕は心配でした。自分のおにぎりはきたなくてもいいけれど、弟のおにぎりはきたないともだちに笑われてしまうのではないかとしんぞうがバクバクしていました。でもやるからにはかんばろうと時間を忘れて集中してやっ

3

4

いたら、お母さんに「もう時間だから学校に行きなさい」と言われました。結局とちゅうまでしかできませんでした。

僕はしようじき食べ物なんて作るのがめんどくさかった。たです。なのでお母さんにめんどくさくないのかと聞いてみました。すると、食べる人がおいしいといってくれるのがうれしいから作っているんだよ」と言われました。僕は自分で自分のご飯しか作ったことがないからわかりませんでした。いつも僕のご飯

を作ってくれている人はそんなに食べる人の事を思っで作っでくれているのだと初めてわかりました。

いつもなにげなく食べているご飯にそんなに愛情が入っているのだと知りました。

やっぱり僕はコンビニやスーパーのきかいで作っているおにぎりより愛情がこもった手作りのおにぎりの方がだんぜん好きです。

手作りだとあたたかい時に食べられるし、自分の好きな具を入られるし、いろいろ形

にもできるし自分のオリジナルのおにぎりを
作れるからです。

何よりにぎった感じのやさしさが手作りお
にぎりにはいっぱいです。

今回、おにぎりを作ってわかったことが二
つあります。

一つ目は、おにぎりはいろいろな人の愛情
で、できているということ。

二つ目は、ご飯を作るのは自分のためでも
あるが大切なだれかのためでもあるというこ

と。

僕はこれからもう、お父さんお母さんが
ご飯を作ってくれている時には、せっきよく
的に手伝っていきたいと思います。